

#### 4. 資産の有効活用（モノ）

目指すべき姿	取組み内容
市が保有する資産を、将来にわたり、有効に管理・運営する仕組みになっています。	本市が保有する資産について、有効活用や管理運営の見直しなど、適切にマネジメントできる仕組みづくりを行います。

##### ①公共施設マネジメント

- 公共施設のあり方検討
- 公共施設の運用形態の見直し

- 公共施設白書やあり方計画をもとに、公共施設（ハコモノ）の統廃合や機能転換など「量の見直し」と維持管理経費の削減など「質の見直し」を進めます。

##### ②公共施設等マネジメント

- 公共施設等の総合管理

- 全ての公共施設等（ハコモノ、インフラ系、プラント系など すべての市の保有施設）の情報について、総合的かつ計画的に管理できるよう全庁的な組織体制を構築します。

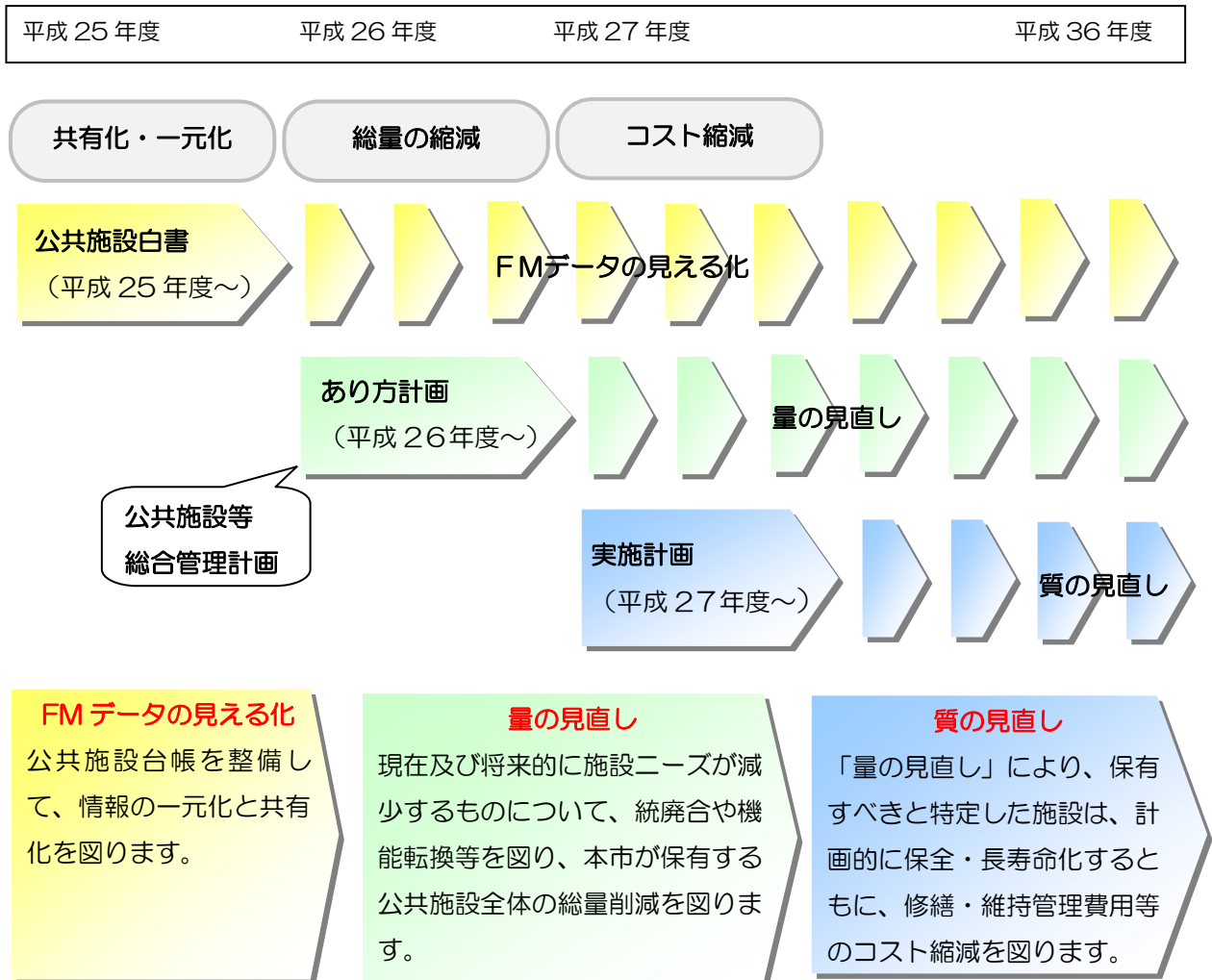
公民連携では
<p>「公共施設等管理における公民連携手法の積極的活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 公共施設等の更新・統廃合・長寿命化など今後の管理方法について、民間の技術やノウハウ、資金等を積極的に活用することを検討します。</li> </ul>

## 【主な実施項目】

## 公共施設マネジメント

ファシリティマネジメント（FM）の考え方に基づき、これまで本市で蓄積してきた公共施設を良質な資産として、次世代に引き継ぎ、市民ニーズに合った行政サービスを提供します。

## 公共施設マネジメントのスケジュール



## 「ファシリティマネジメント（FM）」とは・・・

各施設で担ってきた計画から管理に至る一連のプロセス（縦割り）について、**効率性・合理性の視点から横の太いパイプ（FMの横串）**を通します。

